

イネカメムシによる登熟・品質への影響

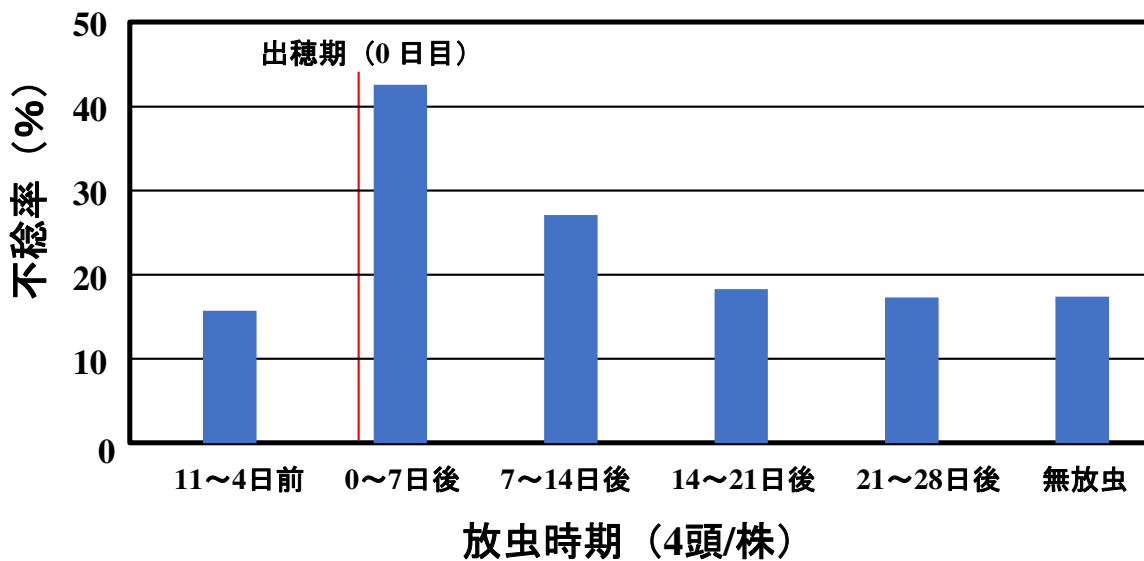
農林水産研究所

近年、問題となっているイネカメムシの防除適期を検討するため、**イネカメムシの加害による不稔と斑点米の発生時期**を調査しました。



試験の様子

イネカメムシの加害による不稔発生程度への影響



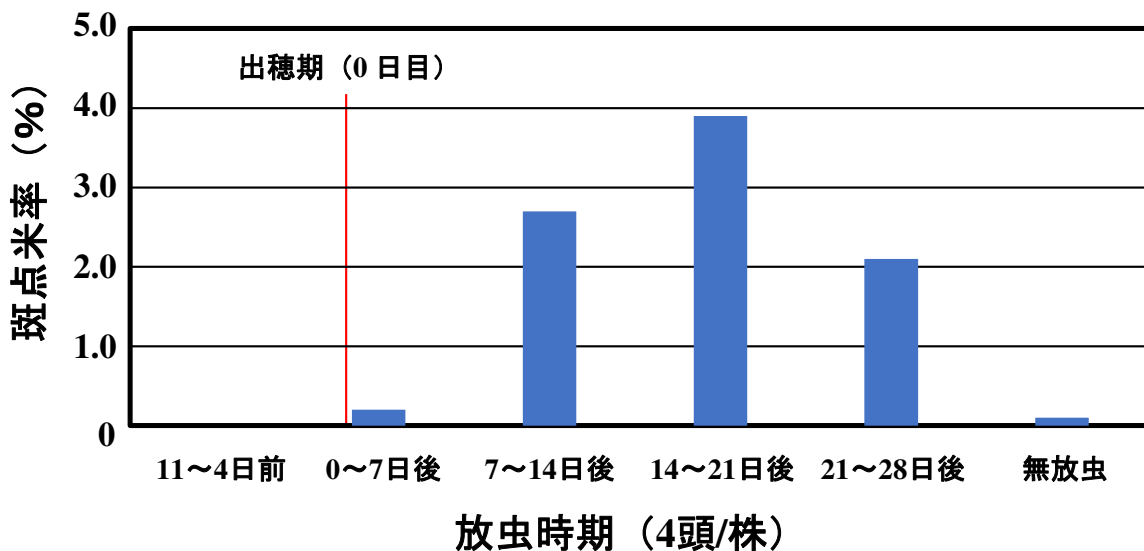
傾穂(通常)



直立穂(不稔)

○不稔被害の主な発生時期は、**0~7日後**、**7~14日後**

イネカメムシの加害による斑点米発生程度への影響



玄米



斑点米

○斑点米被害の主な発生時期は、**7~14日後**、**14~21日後**、**21~28日後**

以上の結果から、不稔被害を抑えるためには**出穂0~7日後の防除**、斑点米被害を抑えるためには**出穂7~28日後の防除**が重要です。